



学校だより

# 深谷

令和5年4月28日

5月号

横浜市立深谷小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya>

## ほっとする居場所

校長 石原 加代子

若葉の新緑がまぶしい季節になりました。新学期が始まり、早くも1か月が経とうとしています。様々な場面で子どもたちのやる気がみなぎり、真剣な表情や素敵な笑顔を幾度も目にし、喜びを感じています。特に6年生は、緊張した表情の中に最高学年になった喜びや使命感がにじみ出ています。日々の教育活動を通して最高学年としての自覚を高め、深谷小を創っていく意欲を継続し、一人ひとりがリーダーに育っていくのが楽しみです。

1年生は少しずつ小学校生活に慣れてきています。本校では、昨年度から幼保小連携推進地区事業に取り組み、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続と双方の教育の充実を目指して俣野保育園と交流しています。スタートカリキュラムの改善も進めています。4月は登校して連絡帳を提出し、ランドセルを片付けた子どもたちから隣のふかびょんルームで自由遊びをしたり、自分の机を使いたい子どもたちは教室で過ごしたりしています。担任だけでなく、担任をもたない教員や新1年生ボランティアの方々が見守る中で、思い思いに絵を描いたり1年生の友達や6年生と一緒にカプラを積んで楽しんだりしています。自分の背の高さよりも高く積み上げ、もっと高く積もうと、職員室に背の高い先生を呼びに来たことがありました。これまで園で培った力を活かして「〇〇するにはどうしよう。」と、自分で考え行動する子に育てたいと思っています。昨年度の取組の様子がこども青少年局のホームページ「幼保小連携推進地区事業」に掲載されていますのでご覧ください。

新1年生ボランティアは、共育ボランティアネットワークの一つです。本校に在籍している方だけでなく、卒業生の保護者の方もいらっしゃいます。卒業しても、深谷の子どもたちと一緒に育ててくださり、ありがたいことです。友達や6年生とのつながりができ、多くの大人目があることで入学当初に比べて笑顔がたくさん見られ、学校がほっとする居場所になってきています。地域の方々も、深谷小の子どもたちを大切に思ってくれています。深谷っ子愛護会の皆様は、気持ちよく新学期を迎えられるように花壇の除草をしてくださいました。学援隊の皆様は、子どもたちに温かい声をかけながら毎日見守ってくれています。PTA本部をはじめ、保護者の皆様も、登下校の見守りにご協力をいただき心から感謝しております。私たち教職員も、子どもたちに寄り添い、全ての子どもたちにとって、安心して過ごすことができるほっとする居場所づくりに努めてまいります。

横浜市では、今年度から5月に「いじめ早期発見のための生活アンケート」を記名式で実施します。日頃からいじめを許さない風土をつくり、いじめの未然防止・早期発見・早期解決・再発防止に取り組んでいます。「深谷小学校いじめ防止基本方針」は毎年度改定し、学校ホームページに掲載しています。学校生活のみならず放課後の遊びの中で心配なことが起こることもあります。家庭と連携して、小さなSOSを見逃さず早期発見・早期解決を図っていきたいと思います。

さて、明日から連休が始まります。連休明けには子どもたちが元気いっぱい登校してくるのを楽しみに待っています。引き続き保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。